

中学部 2 年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和 6 年 11 月 2 日（土）9：10～10：00

場 所：調理室、作業室 I

指導者：松尾 佑美（T 1）武藤 海斗（T 2）

藤原 佑介（T 3）

1 単元名

開店！！炎のパワー クレープ屋さん

2 単元目標

- （1）クレープ屋を開店するまでに必要な準備、調理方法や基本的な接客の仕方を覚える。（知・技）
- （2）これまでの経験を基に、よりよい調理方法や接客の仕方を考え、自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりしながら活動する。（思・判・表）
- （3）自分や友達の活動の様子を認め合い、得意なことを見付けて自分から取り掛かったり、初めてのことに一人でも、または友達と一緒に取り組もうとしたりする。（学・人）

3 生徒と単元

（1）生徒について

教師との対話を求める生徒が多く、教師を介して同じ話題で複数の生徒がやり取りを楽しむ様子が見られる。自分の気持ちや考えを言葉にして話すことに自信がないために発言を控える生徒がいるが、友達や教師の励ましを受けながら、自分から伝える経験を積んでいる。（人とつながる）

分からないことがある際に、自分から聞いたり、調べたりする場面は少ないが、教師の指示や説明を聞いたり、絵や写真を見たりして情報を得ることで、安心して活動に取り組む。（情報を集める）

経験不足や失敗することへの不安な気持ちから、初めてのことに挑戦するまでに時間を要することがあるが、繰り返しの活動や経験のある役割には、自信をもって取り組む。教師に助言を求めながら生徒同士で話し合いをし、問題を解決しようとする場面が見られるようになってきた。（試す）

自分の好きなことや得意なことに友達を誘い、一緒に取り組む楽しさが分かってきた。写真や動画などを用いた教師とのやり取りを通して、自分の行動を振り返る活動を積み重ねている。（自分を知る）

わかとはとモデル～「生涯学習力」を見取る視点～ 広がりや深まりのモデル			
人とつながる	なかまといっしょに	人とつながりをもとう・広げようとしている	人とつながりを広げよう・深めようとしている
情報を集める	見てみよう・聞いてみようとしている	見て聞いて調べようとしている	経験を生かそうとしている
試す	やってみようとしている	考えて試してみようとしている	挑戦し続けようとしている
自分を知る	好きなことを知ろうとしている	いろいろな自分を知ろうとしている	なりたい自分を知ろうとしている
「生涯学習力」を広げたり深めたりするための基盤 【好奇心】【興味・関心】【夢中】			

（2）単元設定理由

前単元では、「かき氷屋」を校内で開店し、多数のお客さんに応対したことで、作ったものを食べてもらう喜びや、接客を通して人と関わる楽しさ、友達と一緒に開店成功までやり遂げた達成感を味わった。これらの経験から、「また店を開きたい」「今度は、（昨年度も行った）クレープ屋を開きたい」という意見が生徒から出てきた。本単元では、「かき氷屋」で経験した開店準備や接客の流れを基に、昨年度の「クレープ屋」の内容をリニューアルして開店をし、調理や接客の役割に取り組む。

開店準備や調理、接客など、これまで行った取組を基本とすることで、見通しをもって得意な役割に自分から取り掛かったり、集団の中でも安心して活動に参加したりすることができる。また、グループでの活動に繰り返し取り組む中で、生徒自身や集団で経験したものと結び付け、店をよりよくするための意見や気持ちを自分の言葉で友達に伝えようとする可以考虑。加えて、複数回の開店と評価や改善を繰り返し行うことで、自分や友達の頑張りに気づき、自信をもって活動に向かったり、仲間と協力したりする力を高められる。店の成功を目指して友達と一緒に活動し、仲間と共にやってみようとする姿をさらに増やしていきたいと考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・開店をするために必要な準備や接客で大切なことについての情報を得られるように、実際に飲食店を見学したり、先輩から学ぶ機会を設定したりする。
- ・複数回の開店に向けて意欲的に学習に取り組めるように、学習計画を提示したり、成功体験を積めるような場面を多く設定したりする。
- ・生徒同士の話し合いの中で自分の気持ちや意見を伝えやすいように、テーマ設定やグループ編成を工夫する。生徒同士のやり取りを見守りながら、必要な場面では話し合いの進行を補助する言葉掛けをする。
- ・よりよい調理や接客の仕方が分かるように、開店と評価・改善の機会を繰り返し設定する。自己評価や他者（生徒同士や教師）からの評価を丁寧に行ったり、改善に向けて外部（お客さん）からの評価を意図的に話題にしたりする。

4 単元計画（総時間数 39 時間）

学習内容	主なねらい
炎のパワー クレープ屋さん、スタート！ （8 時間） ・飲食店の見学をする。 ・メニューや役割を決める。	・実際の飲食店の雰囲気や店員の様子を知り、お客さんの案内や品物の提供の仕方、メニューなどで自分たちの店に生かせることを考える。（知・技） ・友達や教師に自分の意見や気持ちを伝えながら、店内の物の配置や新しく追加したいメニュー、役割分担を決める。（思・判・表）
開店！①に向けて準備をしよう （10 時間） ・看板、メニュー表、チラシ、店内装飾を制作する。 ・クレープの試作をする。 ・先輩から接客の仕方を学ぶ。	・接客の際の言葉遣いや表情、品物の提供の仕方などを覚える。（知・技） ・制作や調理の中で得意な役割を見付け、繰り返し活動に向かう。（学・人）
炎のパワー クレープ屋さん、開店！① （4 時間） ・校内の（身近な）職員を対象に開店する。 ・振り返りをする。	・お客さんや同じ系の友達に、場面に応じて必要なことを伝えたり、友達や教師の誘い掛けを受け入れたりして調理や接客に取り組む。（思・判・表） ・調理や接客の中で自分にできる役割を見付け、進んで活動に取り組む。（学・人）
開店！②に向けて準備をしよう （3 時間 本時 3 / 3） ・お客さんからの意見を知る。 ・「開店①」の振り返りを基に、「開店②」をよりよくするための話し合いをする。	・接客や調理活動での出来事や経験を基に、「開店②」をよりよくするために必要なことに気付き、自分の考えや気持ちを友達に伝える。（思・判・表） ・グループの友達と一緒にお互いの頑張りを伝え合いながら、必要な物の制作や接客の練習などの開店準備に取り組む。（学・人）
炎のパワー クレープ屋さん、開店！② （6 時間） ・中学部の友達や教師を対象に開店する。 ・「開店②」の振り返りをする。 ・「開店③」をよりよくするための話し合いをする。 ・「開店③」に向けて準備をする。	・お客さんや友達の動きを見ながら、必要に応じて言葉を掛けたり、準備に取り組んだりする。（思・判・表） ・友達や教師の誘い掛けをきっかけにして、自分の役割に進んで取り組んだりする。（学・人） ・次の開店に向けて必要な準備について、グループの友達同士で意見を出し合って決めたり、協力して制作したりする。（思・判・表）
炎のパワー クレープ屋さん、開店！③ （4 時間） ・小学部児童や高等部生徒を対象に開店する。	・友達と話し合って考えた解決方法やこれまでに覚えた接客の仕方などを、調理や接客の場面で生かそうとする。（知・技）（思・判・表） ・開店の際に、友達同士で問題を解決してその場の状況に対応しながら、調理や接客をする。（思・判・表）
炎のパワー クレープ屋さんを振り返ろう （4 時間） ・「開店①～③」の振り返りをする。 ・単元全体の振り返りをする。 ・仲間同士で頑張りを伝え合う。	・自分自身や友達の頑張りを認め合い、挑戦できたことや友達と一緒に取り組めたことなどを知る。（知・技）（学・人） ・自分の頑張りに気付いたり、適切に振り返ったりして活動した様子を言葉で表現する。（学・人）

5 生徒の実態と目指す姿

生徒	実 態	単元を通して目指す姿
A・男	①自分から他者に関わることは少ないが、他者からの働き掛けを受け入れやり取りする。 ②経験があることは、安心して一人で取り組む。 ③経験がないことは「どうすればいいですか。」と教師に聞き、行動に移そうとする。 ④一人で黙々と取り組むことを好むが、必要な場面では自分から話し掛けることが大切だと気付いている。	・開店の際に、自分にできることを見付けたり、友達とやり取りをしたりしながら、調理を進める。 ①②③ ・グループの友達に自分の意見を伝えながら、開店準備に向けた話合いをする。 ①③
B・男	①身近な友達を誘って一緒に活動に向かう。他学部とも交流したい気持ちが大きい。 ②興味があることは、自分でタブレット型端末を活用して情報を得る。 ③話したいことを整理し、適切な言葉を選びながら相手に伝えようとする。 ④役割を通して、初めての活動にも積極的に挑戦する。	・開店までに必要な準備について、自分の考えを友達に分かるように伝えたり、友達の意見を取り入れたりしながら話し合う。 ①③ ・接客の仕方大切なことを覚え、開店の際に生かそうとする。 ①②
C・男	①人とやり取りすることが好きである。友達の誘い掛けで活動に向かうことが多いが、自分の意思を伝えながら行動する。 ②友達の様子を見たり、教師に質問をしたりして必要な情報を得ようとする。 ③自分の考えを友達に伝えたり、友達や教師の励ましを受けて挑戦したりする。 ④友達と一緒に、好きなことや楽しいことに取り組みたい気持ちが大きい。	・自分の考えをグループの友達に伝えたり、友達の意見を聞いたりして、開店までに必要な準備を考える。 ①③ ・注文を取ったり、品物を渡したりする際に大切なことに気を付けて接客をする。 ③④
D・男	①友達に認められることを励みにしたり、友達ののために行動に移したりして活動する。 ②周囲の様子を見たり、教師に分からないことを聞いたりして活動や状況を理解する。 ③友達や教師の励ましを受けたり、教師を誘ったりして初めてのことに挑戦する。 ④一人で取り組めると感じた活動は、自信をもち繰り返しやってみようとする。	・友達の誘い掛けを受け入れたり、得意な活動を見付けたりして、自分から調理に取り掛かる。 ①④ ・調理や接客をよりよいものにするための方法を見聞きし、開店の際に生かそうとする。 ①②③
E・女	①やり取りする友達は限られているが、周りを見て他の友達も気に掛ける発言が見られる。 ②教師の話を聞いて活動に見通しをもつ。身近な教師には自分から質問をする。 ③繰り返し経験をしていることには、一人で取り組む。 ④初めてのことや失敗をすることに大きな不安がある。予告や見通しが自分には必要であることを理解している。	・グループの友達に自分の考えを伝えながら、開店に向けた話合いをする。 ①③ ・自分の頑張りに気付いたり、友達の様子を認めたりしながら、接客を最後まで行う。 ①④
F・女	①先輩との関わりが増えている。必要な場面では、友達を活動に誘う場面も見られる。 ②慣れている状況では、分からないことを身近な教師に自分から聞くことができる。 ③教師の励ましを受け、自分の考えを伝えようとするが増えてきた。 ④大きい声で挨拶や返事ができるようになりたいという思いがある。	・自分の考えをグループの友達に伝えたり、友達の意見を認めたりしながら話合いをする。 ①③ ・開店の際に、自分にできることを見付けたり、必要に応じて友達に言葉を掛けたりして、状況を見ながら調理や接客をする。 ①②③

G・男	①身近な教師や友達、名前を覚えて呼んだり、自分から近付き関わりを求めたりする。 ②視覚的な情報や繰り返しの経験を基に見通しをもち、活動に取り組む。 ③友達や教師の誘い掛けを受け入れて、集団の中で一定時間一緒に活動に向かう。 ④教師とのやり取りや選択肢から、取り組みたい活動を選ぶ。	・制作や開店の際の仕事に見通しをもち、友達や教師の誘い掛けをきっかけに、自分の役割に取り掛かる。 ① ② ③ ・活動内容や活動量を選択肢から選び、制作やホール係の役割に教師と一緒に取り組む。 ③ ④
H・男	①見通しがあることには自分で取り組むが、友達の様子を参考に行動に移す場面もある。 ②教師に質問をし、活動に見通しをもつ。タブレット型端末で調べることが得意である。 ③初めてのことは不安だが、繰り返し取り組んだ活動に安心して一人で取り組む。 ④自分の好きなことや得意なこと、苦手なことを踏まえ、やりたいことを選ぶ。	・友達の様子に目を向けたり、友達に言葉を掛けたりしながら、グループの友達と一緒に制作や調理を行う。 ① ③ ・調理や接客を行う中で、得意なことを新たに見付け、友達や教師と一緒に取り組む。 ① ③ ④

6 本時の計画

(1) 本時のねらい

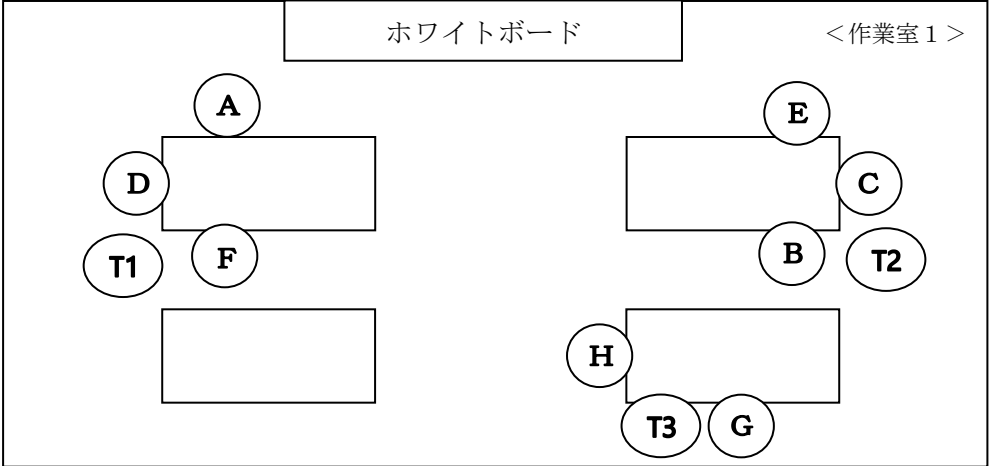
- ・「開店①」のお客様アンケートを基に、接客や調理の仕方をよりよくするための方法を話し合っ
て決める。(話し合いグループ) (思・判・表)
- ・店内で使う場面や目的が分かり、「開店②」に向けて新たに必要な店内装飾を制作する。
(制作グループ) (思・判・表)

(2) 個別のねらい

- A：自分の考えを伝えながら、グループとしての意見を決める。
→少人数のグループで、自分が経験した場面に関するテーマの話し合いを設定する。
- B：友達の話聞き、よりよい店にするために必要なことを考え、テーマに沿った受け答えをする。
→話し合いの内容を整理できるように、グループ内で出た意見を板書やメモで示す。
- C：話し合いのテーマの内容を正しく捉え、理由を添えて自分の意見を友達に伝える。
→グループ内で出た意見を整理しながら話し合えるように、ワークシートを用意する。
- D：話し合いの大まかな内容を捉え、友達の意見を参考にしながら自分の考えを伝える。
→内容や友達の考えを、教師が要約して伝える。
- E：自分の考えを友達に伝えるように話し、話し合ったことを全体で発表する。
→グループ編成を工夫し、教師が仲介しながら発表の際の役割分担を事前に決める。
- F：自分の考えを伝えながら、状況に応じて友達に意見を求めて話し合いを進める。
→話し方の例を示し、話し合う内容を整理できるワークシートを用意する。
- G：教師の誘い掛けを受け入れ、落ち着いた気持ちで店内装飾の制作活動に取り組む。
→活動に気持ちを向けて取り組むことができるように、座席配置を工夫する。
- H：制作物の活用の仕方が分かり、丁寧に作ることや数量の目標達成を目指し、店内装飾を作る。
→完成品の手本や目標個数などを視覚的に提示する。

(3) 学習過程

時間	学習活動	教師の働き掛け・留意点
5分	1 始めの会をする。 ・活動内容や役割を知る。	・見通しをもって学習に取り組めるように、単元の計画や本時の流れ、役割分担などを視覚的に示す。 ・本時のめあてを意識できるように、話し合いの際のやり取りの例を、前時までの写真や板書で提示したり、生徒の実演で示す時間を設けたりする。
	<めあて> 「開店①」で分かったお店の課題を解決するための方法を、友達と一緒に考えよう。	
30分	2 グループに分かれて、話し合いや制作をする。 ・話し合いグループ① (A、D、F) ・話し合いグループ② (B、C、E)	・話し合いのテーマが分かりやすいように、「開店①」でお客さんからもらった意見をグループごとに確認したり、実際の場所で状況を再現したりする。 ・意見を整理しながら話し合いを進めたり、生徒同士でのやり取りが増えたりするように、話し合いの流れや話し合う内容が分かるワークシート、テーマを示す写真などを用意する。

	制作グループ (G、H)	- 必要な場面で、話合いの内容を要約して個別に伝えたり、考える手掛かりとなるような選択肢を提示したりする。 (T 1、T 2) - 前向きな気持ちで話合いに臨めるように、状況に応じて、これまでの話合いでよかった発言や反応などを振り返る場面を設定する。 - 最後まで見通しをもって取り組むことができるように、活動量や休憩時間、活動の終わりを視覚的に示す。 (T 3) - 自分の考えや気持ちを伝えながら活動に取り組めるように、選択肢から選んだり、教師と相談して決めたりする機会を設定する。 - 生徒同士で意見を出し合って考えたり、話合いのテーマに対する生徒からの気づきが見られたりした際には、場面を捉えて具体的に称賛する。
	ホワイトボード ＜作業室 1＞ 	
15 分	3 振り返りをする。 - 各グループで決めたことや制作したものを発表する。 - 自分や友達の頑張りを知る。 - 次回の活動について知る。	- グループでの活動をお互いに見合えるように、活動 2 で使用したワークシートや実際に制作したもの、写真などを用いて活動内容を報告する時間を設定する。 - 本時の頑張りを振り返られるように、動画を見て自分や友達の活動の様子を思い返す時間を設定したり、生徒の頑張りが見られた場面を教師が紹介したりする。

7 評価

(生徒)

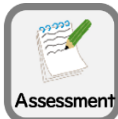
- 自分の考えを進んで友達に伝えたり、友達の話を聞いて答えたりしながら、「開店②」をよりよくするための方法を考えることができたか。(話合いグループ)
- 次回の開店に向けて必要な準備が分かり、友達や教師と一緒に制作に取り組むことができたか。

(制作グループ)

(教師)

- 次回の開店に向けて、生徒同士で課題を解決しようとするための場面設定や教材が用意できていたか。
- 活動に見通しをもって制作に取り組むための環境や視覚的情報は適切だったか。

「わかはとシステム」による授業づくり



子どもの夢・願い (私の応援計画)	
お店に全校のみんなを招待したい。	自分の得意なことや経験したことを生かしたい。
お店をリニューアルしたい。	新しいことに挑戦したい（でもちょっと不安）。

教師が子どもに願う姿	保護者の思い
人との関わりの中で学んでほしい。	一人でできることを増やしてほしい。
学んだことを様々な場で発揮してほしい。	自分の思いを伝えられるようになってほしい。
みんなで成し遂げる達成感を味わってほしい。	生活に生かせる力を付けてほしい。

わかはとモデルの視点	
人 人とつながる 情 情報を集める 試 試す 自 自分を知る 好 好奇心 興 興味・関心 夢 夢中	
人 自分の考えや気付いたことを友達と伝え合いながら課題をクリアする。 試 教材やモデル（教師や友達の手本）を手掛かりに新しいことに挑戦しようとする。	情 解決したいことを経験から考えたり、友達や教師との関わりの中で明らかにしたりする。 自 自分の取組を振り返ったり、仲間同士の良い点を認め合ったりする中で自分や友達の良さに気付く。



生活単元学習	開店！ 炎のパワー かき氷屋さん
昨年「屋台スタイル」で開店したかき氷屋、クレープ屋をテーブルと椅子席を用意した一室を店舗にしたカフェスタイルとしてリニューアルする。基本的な接客や、スムーズな品物の提供が求められる状況設定とする。	
【知・技】	お店を開店するまでに必要な準備、よりよい調理や基本的な接客の仕方が分かる。
【思・判・表】	開店準備や接客を通して、自分の考えを伝えたり、相手の意見を受け入れたりしながら活動する。
【学・人】	自分や友達の活動の様子を認め合い、得意なことに進んで取り組んだり初めてのことにとも取り組もうとしたりする。
関連する主な教科等	国語科（A聞くこと・話すこと 中学部2段階イ～エ 1段階オ） 社会科（ア社会参加ときまり、中学部2段階（ア））



つながりミーティングⅠ	
人 お客さんの対象を自分たちで決める。 試 新たなメニューへの挑戦。自分たちで運営するお店	情 お店の発展のために新たな課題設定を検討する。 興 自分たちがレベルアップしてきたことが実感できる評価、振り返りの機会と充実
・経験を基にした話し合いができそうなテーマ設定（グルーピングの工夫、人数調整にも留意） ・評価の充実（教師による称賛、お客さんからのコメント、振り返り＆生徒同士の評価）	
開店！ 炎の中200屋さん⇒00の部分は生徒による話し合いで決定（招待するお客さんの対象なども）	



Assessment



Check



Plan



Do



Action

つながりミーティングⅡ

※対象生徒の変容や今後の目標設定等に関する情報交換

人 少人数学習の良さを生かした環境設定
(縦割り他学部との交流も視野に入れて)

人 小学部や高等部を関わる学習の設定

自 気持ちを表現する場の保証、振り返る場(客観性、メタ認知)

- ・本格的な単元実施を前に、クラス内での活動グループを十分吟味する(検討)
- ・他学部の児童生徒をお客さんとして招待することは必須、機会があれば高等部に学ぶ

開店! 炎のパワー かき氷屋さん

指導計画と他教科等との関連

開店! 中2クレープ屋 ~新入生を招待しよう~

<ねらい>

- ・昨年起組んだ活動や役割を思い出し、できるだけ自分たちの力でお店を開店する。
- ・調理や接客を通して、友達やお客さんに必要な言葉を話したり、受け入れたりする。
- ・新入生に喜んでもらうことを意識して、みんなで協力して調理や接客を行う。

<学習内容>

- ・調理器具の準備や場の設定 ・クレープの調理 ・チラシ制作・注文の聞き取り

- ・国語科(A聞くこと・話すこと 中学部2段階イ~エ1段階オ)
- ・社会科(A社会参加ときまり、 中学部2段階ア)
- ・職業家庭科
(職業B 情報機器の活用1段階アイ 家庭ウ 調理の基礎アイ)

開店! 炎のパワー かき氷屋さん

<ねらい>

- ・お店を開店するまでに必要な準備、よりよい調理や基本的な接客の仕方が分かる。
- ・開店準備や接客を通して、自分の考えを伝えたり、相手の意見を受け入れたりしながら活動する。
- ・自分や友達の活動の様子を認め合い、得意なことに進んで取り組んだり初めてのことに挑戦しようとする。

<学習内容>

- ・開店に向けての話し合い・複数回の開店(改善を重ねる)・調理、接客

- ・国語科(A聞くこと・話すこと 中学部2段階イ~エ1段階オ)
- ・社会科(A社会参加ときまり、 中学部2段階ア)
- ・美術科(A表現2段階ア(ア))
- ・職業家庭科
(職業B 情報機器の活用1段階アイ 家庭ウ 調理の基礎アイ)

開店! 炎のパワー クレープ屋さん

<ねらい>

- ・クレープ屋を開店するまでに必要な準備、調理方法や基本的な接客の仕方を覚えて、自分の役割に生かす。
- ・これまでの経験を基に、より良い調理や接客の仕方を考え、自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりしながら活動する。
- ・自分や友達の活動の様子を認め合い、得意なことに進んで取り組んだり、初めてのことに一人でも友達と一緒に挑戦しようとする。

<学習内容>

単元①②と同様の活動+ メニューの考案・決定、招待状の作成、接客練習 他

- ・国語科(A聞くこと・話すこと 中学部2段階イ~エ1段階オ)
- ・社会科(A社会参加ときまり、 中学部2段階ア)
- ・美術科(A表現2段階ア(ア))
- ・職業家庭科
(職業B 情報機器の活用1段階アイ 家庭ウ 調理の基礎アイ)